

# ア ジ ー ル じんげん asile

秋冬号  
2018  
大谷大学広報誌

なぜ文藝塾で学ぶのか。  
可能性を広げる、サロンの場

# なぜ文藝塾で学ぶのか。

4月から慶間館1階に拠点を移し、新たな取り組みを展開している「文藝塾」。ここを巣立った卒業生がプロ作家としてデビューするなど、その活動はリアルな学びを追求している。そこで今回は、本学における実践的な「学び」の場のひとつである「文藝塾」について、日々、切磋琢磨する学生3名と担当教員に、身につく力や交流する場の魅力について語っていただきました。

可能性を広げる、サロンの場

文学部 文学科  
講師  
泉谷 瞬

文学部 文学科  
第4学年  
井上 翔馬

文学部 文学科  
第4学年  
広瀬 亮太郎

## 総合的に高まる 「書く力」

**泉谷** 「書く力」を養うための講義と演習を行う場として2015年にスタートした「文藝塾」ですが、皆さんはなぜ受講しようと思われましたか。

**森田** 僕は高校卒業前から書き始めた小説のイロハを学びたかったからです。入学してから小説を書くための講義があると知った時は驚きました。

**広瀬** 僕は、そもそも「書く」ことに興味を覚えたからです。というのも、自分のなかに言葉にできないモヤモヤがあつて、それに形を与えたいと思つていました。小説などまったく書いたことがなかつたので、初歩的なところからどんどん吸収できたのは良かったですね。

**井上** 僕の場合は、趣味でゲームシナリオを書いていて、ある時、周りから「お前のシナリオはちよつと質が低い」と言われたのがきっかけです。受講のおかげで全体的に文章力が上がりました。

**泉谷** 井上くんは、文章力とは何だと思えますか。

**井上** やつぱり読ませる力ではないでしょうか。2年前に僕が書いた作品を読んでみても、今と比べてた引きこまれないですね。

**泉谷** それは「書く力」がついて、書き手としての視点が高まり、さらに客観的に「読む力」がついたからなのでしょう。

## 批判を どう受け止めるか

**泉谷** 自分が書いたものに対して、仲間や先生から厳しいコメントがあると思いますが、どのようにとらえていますか。

**森田** 最初の頃はけっこうグサツとききましたが、今は落ち込まないですね。「おもしろくない」という意見は文章力や構成力が足りなかったということなので、次の創作に生かそうと考えています。

**井上** 僕はどちらかというと燃えますね。「次は納得させてやろう」と。



文学部 文学科  
第3学年  
森田 修弥

**泉谷** 批判をヒントに変えて自分のよくないところに目を向けられる力は、創作するうえで重要です。

**広瀬** 批判があつてもちゃんと理由まで考えてくれている意見はありがたいですね。

**泉谷** たしかになんともなくいい、わるい」といった印象批評はあまり参考になりません。「文藝塾」の実践演習の授業で創作と一緒に講評も重視しているのは、他人の作品を客観的・論理的に説明する能力を身につけてもらいたいがあるからです。

**広瀬** その力は、普段の学業のなかの文学研究の読解面でも役立っています。

**泉谷** うれしい言葉ですね。文学の研究を深めるためにも、創る力と読む力を総合的に学ぶことは大切ですね。

## 自由に集い、 学び合う文藝サロン

**泉谷** ところでガラス張りの新しい部屋はいかがでしょうか。

**広瀬** 飲みものが持ち込めるようになったのがうれしいですね。部屋の外の音も聞こえないので集中できます。

**森田** 図書館と違って気兼ねなく話せるので、ちよつとした交流ができるようにもなりました。

**泉谷** 「文藝塾」の部屋をなぜこのような開放的な空間にしたかという点、文藝を通して交流、いわゆるサロンをイメージしていたからなんです。

だれもが自由に集い、語り合い、学ぶ場所。「書くこと」に少しでも興味を持つてもらえるような、いい企画があればぜひ提案してください。

**井上** では、もつと「文藝塾」の授業内でいろんなジャンルが書きたいです。

**泉谷** 来年度からは、より応用的な創作を視野に入れた「実践演習II」の授業を予定しています。「文藝塾」はOB・OG大歓迎なので、今年で卒業するおふたりもぜひ顔を出してください。

**広瀬** 新しい取り組みといえば、今年は冊子もつくりますね。

**泉谷** 夏に学内公募した短編作品を編集して、年度末に発刊する「文藝塾」の機関誌ですね。これも定着させられるよう、盛り上げていきたいです。

## 「書く」ことで 豊かになる人生

**泉谷** 最後に「文藝塾」での何か印象的なエピソードはありますか。

**森田** 「文藝塾」受講生のレベルの高さです。同じ演習の授業を受けていた先輩の作品を読んだ時、同世代にこんなすごい文章を書く人がいるんだと圧倒されました。

**泉谷** なるほど。でも、皆さんの「書く力」も書く機会の少ない学生から見ればたいしたものですよ。プロになる、ならないは別にして、創作にはルールや社会的常識にしばられずに、自分の考えを自由に解放できる側面があります。それは将来、仕事や生活の転機に生かせると思います。だから創作することを時間つぶしのようにとらえず、自由な表現を模索してください。



2018年4月5日(木)～7月17日(火)  
**コミュニケーションデザイン学科第1学年  
 授業内で「伝記作成プロジェクト」実施**

社会学部コミュニケーションデザイン学科第1学年の学生が、地域の方々からこれまでの人生や当時の暮らしを聞き、伝記としてまとめることで地域への理解を深めることを趣旨とした「伝記作成プロジェクト」に取り組みました。本プロジェクトは、社会学部開設に伴い、実践的に地域との連携を図る新たな学びのスタイルとして、第1学年の授業とおして実施されました。

学生たちはグループに分かれて地域の方々に訪問し、インタビューを行いました。高校での学びと異なる活動にとまどいを感じながら、「聴くこと」と「書くこと」の難しさと大



取材を行っている様子

切さを学んだようです。授業を受講

した上原綾人さんと大仲健太さんは「入学して出会ったばかりの仲間たちとのグループ活動は、難しかったです。インタビューではうまく進んでいきなこともありました。しかし、インタビューを受けてくれた方が、たくさんさんの話題を自ら提供してくださったり、逆に僕たちへ質問してくださったり、お話の内容も人との接し方も勉強になることばかりでした。今回の経験を活かして、より深く話題を展開していけるようになります」と語ってくれました。

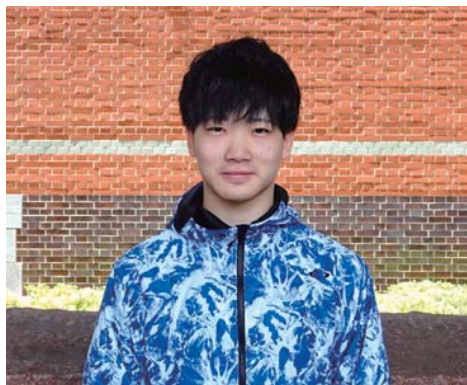


完成した伝記を届けました

**教育・心理学科  
 第2学年 清村斗希さん  
 「第70回全日本学生  
 新体操選手権大会」出場**

文学部教育・心理学科第2学年の清村斗希さんが、8月17日(金)～19日(日)に群馬県高崎アリーナで開催された「第70回全日本学生新体操選手権大会」に出場しました。

清村さんは、「第68回西日本学生体操選手権大会」の「新体操の部(個人競技)」で12位という成績を修め、全国の舞台へ進み、今回の大会では男子個人総合34人中28位という結果でした。清村さんは、「新体操はミスの数で点数の減点につながり、結果にも大きく結びつく競技です。今回はそのミスが多かったと思います。今後は、練習量を増やしてミスをなくしていきたいです」と語ってくれました。今回の悔しさをバネにして、今後のさらなる活躍を期待しています。



2017年度 秋季～2018年度 春季大会結果  
**CLUB INFORMATION**

**卓球部**

●平成30年度春季関西学生卓球リーグ戦  
 男子4部Aブロック 3位  
 女子4部Aブロック 6位

**硬式野球部**

●平成30年度京滋大学野球春季リーグ戦  
 I部 6位  
 (ベストナイン) 捕手・小川航平(文学部社会学科 第4学年)

**サッカー部**

●第95回関西学生サッカーリーグ(後期)  
 3部Bブロック 4位

**陸上競技部**

●第79回石川県陸上競技選手権大会  
 成年男子走り高跳び 5位  
 竹内知春(文学部真宗学科 第1学年)

**バレーボール部**

●2018年度関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦  
 男子7部 2位(6部昇格)

**スキー競技部**

●秩父宮杯・秩父宮妃杯第91回全日本学生スキー選手権大会  
 [男子総合成績] 男子3部 22位  
 [個人] 男子3部 アルペン回転 6位  
 佐々木健(文学部真宗学科 第3学年)

**バドミントン部**

●平成30年度京都府知事杯争奪京都学生バドミントンリーグ戦大会  
 男子2部 2位  
 女子3部 2位  
 ●平成30年度関西学生バドミントン春季リーグ戦  
 男子3部2位 6位  
 女子5部 2位

**テコンドー部**

●駐神戸大韓民国総領事杯第11回青龍会オープンテコンドー選手権大会  
 大学生社会人 初級63・68kg 1位  
 一岡凌輔(文学部教育・心理学科 第2学年)

**アメフト部**

●関西学生アメリカンフットボールリーグ  
 3部Dブロック(少人数11人制) 4位

**スポーツチャンバラ同好会**

●第10回関西・北陸・中国・四国・九州スポーツチャンバラ合同学生大会  
 [団体] 新人男子 敢闘賞 4位  
 有段女子 関西北陸女子リーグ 2位  
 [個人] 新人女子 長剣フリー 2位

**山本佳奈(文学部教育・心理学科 第2学年)**

山本佳奈(文学部教育・心理学科 第2学年)



2018年6月21日(木)  
**環境にやさしいスクールバスへ、学食の使用済み食用油をリサイクル!**

本学は、省エネルギー・環境対策の一環として、学内食堂の使用済み食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料で、スクールバスの運行を始めました。

本学のスクールバスは、火曜から日曜の週6回、クラブ活動やゼミ活動のため、本部キャンパスから湖西キャンパスまでを毎日2台、2〜4便運行しています。

この取り組みによって年間約44トンのCO<sub>2</sub>が削減されると想定しています。

2018年7月16日(月)  
**日本野球機構審判員 佐々木昌信さん(本学卒業生) 硬式野球部を激励**

本学硬式野球部OBで、現在NPB(日本野球機構)で審判員として活躍中の佐々木昌信さん(1991年度卒)が、本学野球部の激励に来てくださいました。

佐々木さんは、ご自身の学生時代の様子を振り返り、「継続して努力していれば、その姿を見てくれる人が必ずいる。貴重な「今」を大切に、悔いのないように頑張ってください」と熱く語ってくださいました。野球部の部員たちも背筋を伸ばし、まっすぐ前を見つめて話に聞き入っていました。佐々木さんからの「大谷大学の看板を背負っている」というお言葉には、深く頷く部員もおり、



佐々木昌信さん

あらためて今後の練習に向け、気が引き締まったようです。佐々木さんは2015年にNPBの最優秀審判賞を受賞され、2016年には通算2000試合出場を達成されるなど、現在も第一線で活躍されています。今後一層のご活躍を願います。

2018年7月14日(土)  
**京都府との就職支援に関する協定を締結**

本学は、京都府と就職支援に関する協定を京都市勧業館「みやこめっせ」において、西脇京都府知事、府内の大学関係者参加の下、締結しました。今回の協定締結には、府内の企業等におけるインターンシップの取り組みや京都府北部地域へのUIJターン就職の促進などがあります。これにより京都府内の企業との関係がこれまで以上に強化されることが期待されます。



木越学長と西脇京都府知事



人事情報  
**PERSONNEL INFORMATION**

**依願退職**

**【事務職員】**

大塚 政子 (学生支援部) 2018年7月31日付

荒木 さとみ (総務部)

内堀 陽子 (教育研究支援部)

高田 理可 (総務部)

2018年8月31日付(全通)

**【事務系嘱託】**

大橋 宏子 (学生支援部)

2018年7月31日付

●第3回スポーツチャンバラ近畿学生大会

【団体】有段男子団体戦 3位

【個人】女子有段有級の部 両手長剣の部 敢闘賞

宮崎 尋子 (文学部社会学科 第1学生)

女子有段有級の部 橋小太刀の部 敢闘賞

仲田 瑞希 (文学部歴史学科 第2学生)

男子有段有級の部 二刀の部 3位

川井 悠輔 (文学部歴史学科 第4学生)

男子有段有級の部 長剣両手の部 敢闘賞

川井 悠輔 (文学部歴史学科 第4学生)

男子有段有級の部 小太刀の部 1位

佐藤 康一 (文学部社会学科 第3学生)

男子有段有級の部 小太刀の部 2位

下司 直也 (文学部社会学科 第2学生)

男子有段有級の部 小太刀の部 敢闘賞

森田 崇嗣 (文学部文学科 第2学生)

※入賞者の学年は、大会時のものです。

2018年3月16日(金)

## 新オリジナルグッズ「ピンバッジ」完成

大谷大学オリジナルグッズとして新ロゴマークと大学名を記したピンバッジを製作しました。3学部体制のスタートや新教室棟の整備など、大谷大学の新しい展開に伴い作成された新ロゴマークは、円がOTANIの「O」、五角形と中央部の四角形がUNIVERSITYの「U」を表しており、中心から外側にかけて円へと変化する図形は、学生が成長していく様子を表現しています。

ピンバッジは、幅広い世代の方に着けてもらえるよう、シンプルなデザインとなっております。慶開館1階カフェのレジカウンターにて800円で販売しておりますので、お立ち寄りの際にはぜひご購入ください。



2018年5月18日(金)～5月27日(日)

## 人文情報学科学生有志「PENKI FACTORY Media Works」 「第4回 天才アート企画展」に制作協力

京都市内で開催された「第4回天才アート企画展」において、文学部人文情報学科の有志学生で作られた「PENKI FACTORY Media Works」倉光延行プロデュースが、映像制作や設営に協力しました。

天才アートとは、障がいのある人がもつ優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品を指します。今回は、図形を動物などに見立てて表現する土屋彰男氏と、数字を羅列して抽象的に表現する大柳憲一氏の作品を展示しました。人文情報学科第3学年の小島琢斗さんは、「私は天才アートとの連携を通じて、障がい者支援の現場を深く知ることができ、またその現場に携わっているスタッフや保護者の方々の懸命さを感じました。こうした経験をこれからの活動に生かしていこうと思います」と感想を語ってくれました。



2018年5月3日(木)

## おたにキッズキャンパスおでかけ隊 長浜別院大通寺「花まつり子ども大会」に参加

滋賀県の長浜別院大通寺で開催された花まつり子ども大会に、同窓会の長浜支部からのご依頼を受け、文学部教育・心理学科の学生18名がおたにキッズキャンパスおでかけ隊として参加しました。田中潤一ゼミの学生(第2～4学年)が行った「紙コッププラネタリウム」による「紙コッププラネタリウム」による「魚釣り」の3ブースでは、学生が子どもたちの作業を横でサポートしたり、一緒になって遊んだりと賑わいをみせていました。

今回参加した学生の麓真結さん(第2学年・長浜市出身)は、「久しぶりに地元に戻って、いろいろな方とお会いでき、なかには子どもの頃にお世話になった方にも声をかけられ、地元のあたたかさを感じました。一層、滋賀県への愛着を持ちました」と感想を語ってくれました。長浜支部の委員の方からは来年もぜひ参加してほしいというお言葉をいただきました。



# University festival 一紫明祭2018一

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。今年も最高の思い出をつくろう!

今年度のテーマは

谷大100%心にシメイをもって!

こんにちは! 2018年度大谷大学学園祭実行委員会の委員長を務めております井上樹と申します。歴史ある「紫明祭」を盛り上げるため実行委員会一同、日々準備を進めております。

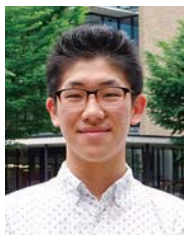
2018年度紫明祭のテーマは「谷大100%心にシメイをもって!」です。「谷大100%」には、来場者を含めた全員で100%の力を出して、紫明祭を盛り上げてほしいという意味が込められています。また「心にシメイをもって!」には、紫明祭の「紫明」と、実行委員会が中心となって学生・大学・地域が協力しい学園祭を成功させる「使命」の意味が込められています。

紫明祭では、クラブ・サークルなどが模擬店を出店し、教室展示やステージ発表などでは、普段の練習や活動の成果を発揮する場にもなっています。ぜひ模擬店や教室展示、ス

ステージ発表に足を運んでいただき、学生の頑張る姿をご覧いただきたいと思っております。

今年の紫明祭はイベント数が昨年よりも多くなっており、各イベントの内容もとても充実したものを予定しています。本学学生が活躍する音楽イベントや後夜祭のパフォーマンスのほか、芸能人のトークショーや芸人さんの漫才、マジシャン・大道芸人のパフォーマンスなど盛りだくさんです。またカラオケイベント、仮装大会といった一般の方が参加可能なイベントも予定しており、来場者全員が大いに楽しめる内容を企画しています。紫明祭の詳細については、大谷大学学園祭実行委員会ウェブサイトに更新してまいりますのでご確認ください。

それでは、紫明祭でお会いしましょう。



学園祭実行委員会委員長  
文学部 教育・心理学科  
第3学年  
井上 樹



## イベント スケジュール EVENT SCHEDULE

※イベントのタイトル・内容及び時間は予定のため、変更する場合があります。

HP <https://shimeisai.wixsite.com/shimeisai>

Twitter: @shimeisai

Facebook: @otani.shimeisai

11/16  
<FRI>

### ★前夜祭

17:00~19:00

11/17  
<SAT>

### サンクスステージ

#### ★内部音楽イベント

11:00~15:30

#### ★カラオケイベント

16:30~18:00

### 駐輪場前特設ステージ

#### ★パフォーマンスイベント

①10:30~11:00

②16:00~16:30

### 尋源館

#### ★ライトアップイベント

16:00~18:00

11/18  
<SUN>

### 講堂 ★プロタレントイベント

開場 10:00 開演 11:00/終演 12:00

### サンクスステージ

#### ★仮装イベント

13:00~14:00

#### ★パフォーマンスイベント

14:30~15:00

### ★後夜祭

16:15~18:00

### 駐輪場前特設ステージ

#### ★パフォーマンスイベント

①12:30~13:00

②15:30~16:00

### 尋源館

#### ★ライトアップイベント

16:00~18:00



# 谷大 ライフ

—洋食 GENPE—

可愛い小物に囲まれた、  
アットホームなお店

我が家のような  
また来たいくなる  
お店です！

## 母の代から変わらない味

ご主人のお母さんが始めた「源平」を、ご夫婦が継いでから約40年。奥さんは、主婦の延長として店主となりお店を継いで、ご主人は定年退職後からお店を手伝い始めました。ご夫婦で、先代から受け継いだ味を守り続けています。レシピがなく、料理の味は毎回少し変わるので、それも楽しみのひとつ。お袋の味を堪能できること間違いなしです。人気メニューはチキンカツ、チキングリエ、ポークチャップなどなど。どのメニューもボリューム満点です！個人的なおすすめは昔ながらの「オムライス」。現在ではお店で目にするものの減った、薄めの卵がしっかりと巻かれたオムライスが食べられます。なかなか実家に帰れず家庭料理が恋しい、そんな方はぜひご賞味あれ！



ご主人の酒井 博さん(右)

ハンバーグ定食  
(ごはん、サラダ、小鉢、みそ汁付 850円)▼

どれも  
ボリューム満点！

オムライス(800円)





# 心安らぐお店

近所の方や大谷大学の先生、学生の常連が多く、ゆったりとした時間を過ごせる店内は、居心地の良いアットホームな雰囲気でした。店内のテーブルやイス、小物類は、奥さんが「いいな」「かわいいな」と思ったものを置いているそうです。店内のものに「特にこだわりはない(笑)」とお話になる、さばさばしたおもしろい奥さんと、物静かで優しいご主人が営まれるお店の後継者は、残念ながらいないそうです。これからもできるだけ長く続けてほしいと素直に思いました。

アットホームな  
雰囲気店内



厨房での仕事ぶりも丁寧

年季の入った  
テーブルが  
雰囲気だてるな



# もうひとつの我が家

店内に入っすぐ右側にあるテーブルは、使わず家に置いていたものを利用し、その他のテーブルは、これに合わせて揃えたそうです。奥さん曰く「店内は私のリビングのような感じでレイアウトしている」とのこと。ご主人のお母さんの代から続き、地域に根づいたGENPEならではの良さですね。まるで我が家のように落ち着いた雰囲気の店内で、ゆったりと食事を楽しんでみてはいかがでしょうか。



かわい  
い小物  
が  
いっぱい!



今回は、文学部国際文化学科第4学年、  
ショバ先生のインドゼミから集まった  
4名で取材を行いました!

文学部 国際文化学科 ショバゼミ  
Dash Shobha Rani先生  
(ダシュ・ショバ・ラニ)



野嶋 景斗

宮地 聖光

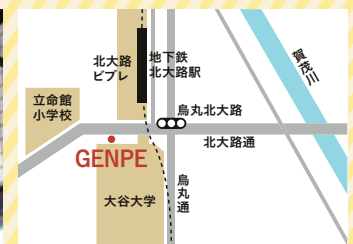


眞名 菜月

戸田 哲朗

今回ご紹介した  
お店の情報はコチラ!

# 「洋食 GENPE」



住 所 / 京都府京都市北区小山上総町53  
地下鉄北大路駅前 北大路駅から197m  
営業時間 / 11:30~21:00 定休日 / 日曜日

予約・お問い合わせ  
075-441-2216

### 2017年度就職決定状況

2017年度文学部卒業生の就職率(就職者÷就職希望者)は96.8%、短期大学部は100%と、高い就職率を維持することができました。(詳細は左ページ参照)

これは、企業の高い採用意欲が維持されたこともありですが、何よりも学生一人ひとりが最後まであきらめずに活動したことによるものです。

2017年度就職活動は、3月1日の広報開始から一斉にスタートしました。新聞紙上では、「短期集中」「売り手市場」以外に「休日・休暇」「福利厚生」など「働き方」が注目されました。早い時期から業界研究、企業研究を行い志望業界、企業の絞り込みができていた学生は3月1日以降の動き出しも早く、比較的早い段階で内定を得る結果となりました。また、6月1日の選考開始以降、早期に内定を得る学生は前年度よりも多く、そのうち、内定を得たことで就活を終了する学生が多かったのも2017年度の特徴と言えます。

一方、準備が不十分な場合は、就活が長期化するなど、準備の差による活動期間の二極化がより明確となりました。

### 現在の就職環境

2018年度の就職活動も、3月1日の広報開始から一斉にスタートしました。現4年生は第3学年の夏休み以降インターンシップ(就業体

験)に参加した学生も多く、一部の学生はインターンシップ先企業への就職を優先したことから、例年よりも静かなスタートとなりました。

スタートに合わせて各種「合同企業説明会(台説)」が開催されました。大谷大学主催の台説には2日間で60社の企業に参加いただきました。あわせて今年度から京都の新卒応援ハローワーク、就職支援協定先の石川県、滋賀県の相談ブースを開設することができました。

台説後、学生は個別の会社説明会への参加、エントリーシートの提出を経て、6月1日の選考開始以後、選考に臨みました。今年度も早期に内定を得る学生も多く、内定を得たことで就活を終了し、通常の大学生生活に戻った学生が2017年度よりもさらに多くなりました。

6月末で、3月から始まった就活の第1クールは収束し、7月以降は、第1クールで募集人数を満たせなかった企業、中堅中小企業などが新たに採用活動を始める第2クールに移りました。秋以降は、教員採用試験、公務員試験の結果を受けた企業の採用活動が展開されます。

キャリアセンターでは、個々の学生の状況に応じた相談・情報提供などの支援を継続して行います。

### 今後の就職支援

キャリアセンターでは、就職に限らず、個々の学生が希望する進路決定ができるよう、さまざまな支援を

行っています。

特に、卒業前年度の就職希望の学生に対しては、5月の第1回就職ガイダンスで「就職のてびき」を配付し、就職活動プロセスや、プロセスに則った各種支援についての説明を行っています。今年度はこれまでに自己発見診断(自己理解)、SPIや筆記試験対策、履歴書作成や業界研究に関する就職ガイダンスを実施しました。

また、10月以降は、履歴書作成のための個人面談、企業研究、職種研究、ビジネスマナー、面接対策などの支援企画を実施します。特に、この時期に必要なのは、履歴書(学生時代に力を注いだこと、私の特徴)作成のための個人面談です。履歴書は採用選考の際に必要な書類ですので、早期に取り組むことが大切です。

今後実施の支援企画については、新システム(大谷大学ユニバーサルパスポート:通称「ユニバ」)、掲示、メールなどでお知らせします。

なお、教員、公務員をめざす学生、

### 第1学年、第2学年のみなさんへ

就職活動と言ってもまだ実感が湧かないかもしれませんが、各学年 日々の学生生活で得た経験(キャリア)が卒業後の進路に大きく関わってきます。

企業が求める力として、「コミュニケーション」「主体性」「協調性」などが挙げられます。これらの力は容易に身につくものではありません。日頃から学業だけでなく、クラブ活動、ボランティア、アルバイトなどでさまざまな人と交流することにより養うことができるものです。また、社会(会社や業界)を知るうえで、インターンシップも有効な方法です。

「今しかできないこと」「本気で取り組めるもの」を見つけるためにも、さまざまなことに挑戦し幅広い経験を積みましょ。

進学希望の学生は、別途支援させていただきますので、相談してください。

### 2020年3月卒業 修了予定者対象 「今後の就職支援ガイダンス・講座等」

- ・履歴書作成のための個別面談「10月1日」
- ・第4回就職ガイダンス(業界研究)「10月」
- ・第5回就職ガイダンス(職種研究)「10月」
- ・面接対策ガイダンス「11月」
- ・第6回就職ガイダンス(企業研究)「11月」
- ・筆記試験対策講座「11月」
- ・ビジネスマナー講座「12月」
- ・志望理由作成ガイダンス「1月」
- ・就活直前集中強化講習「2月」
- ・面接対策フューチャーガイダンス「3月」
- ・学内合同企業説明会「3月」
- ・就職スタートガイダンス「3月」



# 2017(平成29)年度卒業生進路決定状況

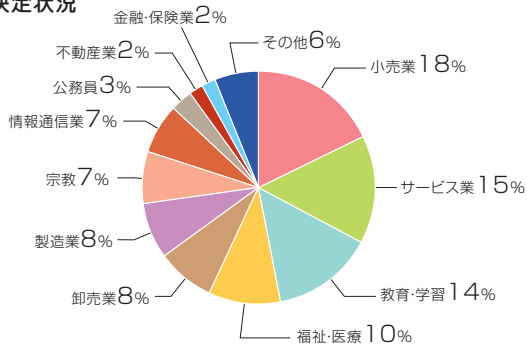
## 文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生 科目等	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外
	就職者	就職活動 継続	大学院	大学短大 専修学校			
653	510	17	23	10	11	27	55

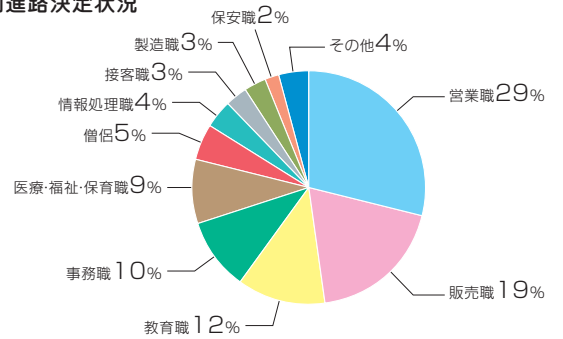
就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
96.8%	83.2%

※進路決定者=就職者+進学者

### ●業種別進路決定状況



### ●職種別進路決定状況



### ●2017年度就職先(抜粋)

業種	職種	企業名
運輸業	小売業	(株)ロマンズ小杉
		(株)大東屋
		西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
		(株)ダイレイトショップ
		東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
		(株)チノニ(株)
		九州旅客鉄道(株)(JR九州)
		(株)ツルヤ
		近畿日本鉄道(株)
		(株)デイトナイインターナショナル
卸売業	サービス業	(株)JALSスカイ札幌
		(株)住友生命保険相互会社
		エムイー(株)
		(株)TOKYO BASE
		(株)サイイ引越センター
		(株)日本郵便(株)
		(株)はるやま商事(株)
		(株)住友生命保険相互会社
		(株)高山ヤクルト販売(株)
		(株)東急リゾーツサービス
製造業	建設業	エムイー(株)
		(株)ヤマシタコーポレーション
		(株)アサヒ(サイクルベースあさひ)
		(株)日本製菓
		(株)アダストリア
		(株)京都市農業協同組合(JA京都)
		(株)インテック
		(株)東急リゾーツサービス
		(株)ウエルシア薬局(株)
		(株)丸善
情報通信業	不動産業	(株)ロジコム
		(株)アトノーション
		(株)たけでん
		(株)STUDIO ARC
		ツルタ電機(株)
		(株)アールエフ
		(株)北陸近畿クゴタ
		(株)プレジール
		(株)P/S(R-S Co.,Ltd.)
		(株)フジネット
公務員	情報通信業	(株)九州マツダ
		(株)エフエフエフ
		旭産工業(株)
		(株)ホリタ
		石原デジタルシステム(株)
		(株)マツモト
		(株)マツヤシステム
		(株)川島
		大坂工業(株)
		(株)大和
金融・保険業	製造業	カネヨシ商事(株)
		(株)サンディ
		(株)カネヨシ商事(株)
		(株)サンディ
		(株)カネヨシ商事(株)
		(株)サンディ
		(株)カネヨシ商事(株)
		(株)サンディ
		(株)カネヨシ商事(株)
		(株)サンディ

## 短期大学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生 科目等	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外
	就職者	就職活動 継続	大学 編入	短大 専修学校			
77	66	0	6	1	0	1	3

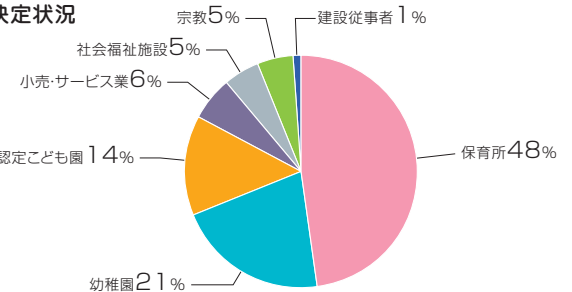
就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
100.0%	94.8%

※進路決定者=就職者+進学者

### ●2017年度就職先(抜粋)

業種	職種	企業名
幼稚園	保育所	一里塚幼稚園
		あさひ保育園
		北野幼稚園
		旭森乳児保育園
		あさひ保育園
		あけぼのこども園
		あけぼのこども園
		あけぼのこども園
		あけぼのこども園
		あけぼのこども園
施設	小売業	つばさ園
		善照学園
		大原学園
		つばさ園
		善照学園
		大原学園
		つばさ園
		善照学園
		大原学園
		つばさ園
サービス業	建設業	(株)マキユリ
		寿電設(株)
		長浜市(幼稚園教諭・保育教諭)
		甲府市(幼稚園・こども園)
		あけぼのこども園
		大原野こども園
		小谷こども園
		登りこども園
		照南認定こども園
		陵々こども園

### ●業種別進路決定状況



※キャリアセンターの支援、主な就職先一覧、進学先は、キャンパスライフ p.65~70をご覧ください。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/03>

## 2017年度決算

2017年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2018年5月18日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会上において決定されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

## 資金収支計算書

資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、当該年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

資金支出は、教職員の人件費や、学生の教育研究および学生生活に関わる教育研究経費のほかに、学生募集・広報等の管理経費と、施設や設備関係支出があります。

## 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的な収支である教育活動収支、教育活動外収支と、臨時的な収支である特別収支に区分し、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を示すものです。

●2017年度資金収支計算書(2017年4月1日～2018年3月31日) (単位/円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,527,768,750	人件費支出	2,643,155,744
手数料収入	139,702,490	教育研究経費支出	1,065,086,804
寄付金収入	232,753,799	管理経費支出	553,795,436
補助金収入	627,823,362	借入金等利息支出	6,999,300
国庫補助金収入	621,650,796	分担金等支出	10,000,000
地方公共団体補助金収入	6,172,566	借入金等返済支出	211,100,000
付随事業・収益事業収入	32,061,138	施設関係支出	1,658,809,195
受取利息・配当金収入	80,204,116	設備関係支出	208,762,606
雑収入	128,924,136	資産運用支出	300,000,000
前受金収入	685,431,940	その他の支出	62,829,418
その他の収入	2,111,286,615		
資金収入調整勘定	△ 799,388,912	資金支出調整勘定	△ 51,931,006
前年度繰越支払資金	4,063,926,687	翌年度繰越支払資金	4,161,886,624
収入の部合計	10,830,494,121	支出の部合計	10,830,494,121

## 貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。

なお、本学園全体の貸借対照表はホームページで公表しています。

## 2018年度予算

2018年度予算は、2018年3月22日開催の学校法人真宗大谷学園理事会において当初予算が決定され、本年度の在学生数が確定した後、7月12日に開催された理事会において補正予算が決定さ

●2017年度事業活動収支計算書(2017年4月1日～2018年3月31日) (単位/円)

科目		金額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,527,768,750
		手数料	139,702,490
		寄付金	166,880,782
		経常費等補助金	627,823,362
		付随事業収入	32,061,138
	事業活動支出の部	雑収入	132,331,598
		教育活動収入計	4,626,568,120
		人件費	2,637,717,158
		教育研究経費	1,595,601,038
		管理経費	590,029,654
教育活動収支差額		△ 196,779,730	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	77,136,853
		教育活動外収入計	77,136,853
	事業活動支出の部	借入金等利息	6,999,300
		教育活動外支出計	6,999,300
教育活動外収支差額		70,137,553	
経常収支差額		△ 126,642,177	
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	71,341,924
		特別収入計	71,341,924
	事業活動支出の部	分担金等	10,000,000
		資産処分差額	28,723,864
		その他の特別支出	0
		特別支出計	38,723,864
特別収支差額		32,618,060	
基本金組入前当年度収支差額		△ 94,024,117	
基本金組入額合計		△ 927,486,715	
当年度収支差額		△ 1,021,510,832	
前年度繰越収支差額		1,995,607,992	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		974,097,160	

(参考)

事業活動収入計	4,775,046,897
事業活動支出計	4,869,071,014

れました。

2018年度は、複数学部化にともなう新しい教育体制がスタートしました。それを機に、仏教による人物の育成および宗教的環境の醸成に資する活動を行うことを目的に、「仏教教育センター」を開設いたしました。また、地域連携室「ミュラボ」を響流館1階に移転し、より一層の学修支援の充実と大学の地域連携事業の推進を図ります。国際化の推進として、2018年度は、英語、中国語の語学研修および「ヨーロッパの宗教と文化」の文化研修を計画しています。

また、就職支援では、各学部の卒業後の進路を意識した支援を学年進行にあわせて段階的に実施します。低学年のキャリア

ア支援としては、卒業後の長い人生をイメージし、在学中の今しなければならぬ課題を発見し、どう取り組むかを考えるきっかけとなる「ライフプランニング」を実施します。

キャンパス内の整備事業は、仮校舎の取り壊しとその跡地の整備を行い、2018年度内に完了します。烏丸通り東側キャンパスの仮駐車場跡は、人工芝のグラウンドに生まれ変わります。

2018年度も本学の教育研究の一層の充実を図るために予算を執行してまいります。

# 大谷大学・大谷大学短期大学部 2017年度事業報告

## 教育に関する事業

### ① 学習支援室(ラーニング・スクエア)

2014年度に開設した学習支援室では、リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーによる基礎英語・日本語の読み書きを中心とした、きめ細やかな個別指導を行っています。

2017年度の来談者数は、延べ人数にして2342名となり、多くの学生の個別指導を行いました。また、2016年度に引き続き、学習支援アドバイザーが担当する授業科目(英語・日本語表現)と連携するなど、支援体制の強化を図っています。

### ② 文藝塾

2015年度に開設した文藝塾では、正課科目である「文藝塾講義」「文藝塾演習」を開講しています。

「文藝塾講義」では、外部講師に小説家などの専門家を招き、講義だけでなく学生が作成した文章の講評や添削などの指導を行っていただきました。さらに、「書く」と「読む」の両方を目指して、新聞記者や編集者、コピーライターや外部講師を迎えてワークショップを実施しました。2016年度から開講した「文藝塾演習」では、文章表現力を養うことを目的として、各回において短編小説詩などの作品を制作しました。

文藝塾は、2018年3月に慶園館1階に移転し、ガラス張りのオープンなスペースに生まれ変わりました。

### ③ 教職支援センター

第4学年を対象として、4～5月にかけて京都府、市、大阪市、滋賀県等の教育委員会の説明会などで学生が情報を得る機会を作ったほか、4月から6月の期間で教員採用試験直前講習を実施しました。2018年度の教員採用試験名簿登録決定者状況(2018年3月31日現在把握分)については、中等科大阪府1名、中学国語)滋賀県1名(高校国語)、初等科京都府1名、京都市4名、滋賀県5名、大阪府4名、大阪市1名、奈良県1名、公立幼稚園4名(長浜市、守山市、茨木市、宝塚市各1名)、私立幼稚園8名となっています。

第3学年以下を対象とした採用試験受験対策としては、「面接試験の対策と実践」を実施したほか、「大谷教師力養成講座」を開設しました。また、論文セミナー、面接セミナー、各採用自治体を想定した願書記入説明会などのサポートを行いました。

教員免許更新講習については、5～12月に本学と地方12都市で必修領域4講習、選択必修領域7講習、選択領域36講習を開講しました。受講者数は、卒業生と関連学校の先生を含め、延べ2574名(実人数1105名)でした。また、地方開講の講習の一部で教員講習開講事業費等補助金を得ることもできました。

### ④ 地域連携室(コミュニティラボ)

地域連携室開室3年目となる2017年度は、2016年度に引き続き、京都市北区から受託した学友まちづくりビジョン策定補助事業「167人の学生及び教職員が参加した「祇園祭ごみゼロ大作戦」のほか、次の多様な事業に取り組みしました。

〈中川学区の暮らし再発見プロジェクト〉

中川学区社会福祉協議会と連携して、北区まちづくり提案支援事業の助成を受けながら、北区の山間地域におけるQOLの維持・向上に向けて、「(1)真弓地区におけるサロンド活動」「(2)中川地区におけるニーズ取り調査」「(3)健康いきいきサロンドの共同実施」「(4)高台寺由来の茶木を生かした中川茶育成・製茶事業」の4種の事業を展開しました。

※Quality of Life

〈学まち連携大学促進事業〉  
2016年度に引き続き、京都市及び(公財)大学コンソーシアム京都による、地域と連携した活動を通じて学生が学ぶ実践的な教育プログラムの支援事業。学まち連携大学促進事業の補助により、社会学科地域政策コースが取り組み、大学がある烏丸北大路周辺の地域情報の発信をはじめ、社会学科現代社会学コースによる左京区在住の高齢者への聞き取り活動、短期大学部幼児教育保育科による乳幼児とその保護者を対象とした子育て支援事業などの活動を実施しました。

今年度は、従来より多くの学科・コースで地域連携に取り組み、また、活動の対象エリアも多岐に渡って展開することができました。今後の更なる地域連携プロジェクトの充実化に向け、活動用品の記録機器や公用自転車、活動環境の整備にも注力しています。

### ⑤ 語学学習支援室(グローバルスクエア)

語学学習支援室では、日常的な学習支援としての語学勉強会(英、仏、独、韓、中、日)を実施しています。また、外国語や外国文化に触れる機会として、アメリカヴァージニア工科大学生との交流会や、外国語カフェ(英、仏、独、韓、中)を開催し、延べ約230名の参加者がありました。留学生が日本の文化に触れる機会としては、学生アシスタント企画「書初め体験」を開催し、35名の学生が参加しました。

### ⑥ 図書館の学修・教育支援環境の充実

2017年度も、学生向けに学生選書プロジェクト、ゼミクラス単位での書店ツアー、利用アンケート、図書制度(館長直々)、図書館総研カタリバ×カフェなど総合研究室と一体となって利用者の声を図書館運営にとり入れる組織的な取り組みを継続しました。これらのさまざまな取り組みへの学生参加者は増えており、図書(館)に親しむ機会も増えています。

## 学生支援に関する事業

### ① 奨学金制度の充実

複数学部化に向けて、採用人数、成績基準、家計基準などの現状の見直しを行い、出願条件や選考基準を明確化しました。

### ② キャリア支援

2018年3月卒業、修了予定者の就職支援については、第3学年であった2016年度後期から本格的に就職ガイダンス(自己理解・業界研究・職種研究等)を開催するなど、早期から企業の採用スケジュールに対応した支援を行いました。また、低学年へのキャリア支援については、第1学年を対象に今後の学生生活を送るうえで目標を定めること、そのための動機づけとなることを目的とした「自己発見診断」については、新入生全員の受検を必修とし、オリエンテーション期間中に実施したこと、受検率が88.8%と2016年度の82.2%を上回ることができました。

11月には、出身学生が多い石川県と滋賀県の2県と就職協定を締結し、Uターン就職の支援強化を図っています。

## 研究に関する事業

### ① 真宗総合研究所

本研究が推進する研究活動の中心に位置づけられるのは、大学が主体となって進める共同研究「特定研究」(指定研究)です。2017年度は、「特定研究」として学長が研究代表者を務める、新しい時代における寺院のあり方研究、「指定研究」として国際仏教研究、ベトナム仏教研究、西蔵文献研究、東京分室指定研究プロジェクトとして、大谷大学史資料室、デジタル・アーカイブ資料室の2資料室を置き、関係資料の収集・整理を継続的に進めました。

教員個々の主体的な関心に基づく研究活動である「一般研究」は、科学研究費助成事業に採択された研究(25件)、2018年度以降の科学研究費助成事業申請のための予備研究(1件)、個人研究の本研究(1件)、計27件の研究を推進しました。

加えて2017年度は、東方仏教徒協会(EBS)が本学に業務移管されました。このEBSの全事業については、本研究所の指定研究である国際仏教研究班の研究事業と位置付け、英文学術誌「The Eastern Buddhist」誌の出版を中心に事業を遂行しています。また、「仏教を基軸とする国際的研究拠点の形成と(人間学)の推進」で文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業に選定されました。事業期間は5年間(2017年度～2021年度)で、本研究所を主体として事業を推進していきます。

## 管理運営・施設に関する事業

### ① 大谷大学本部キャンパス総合整備

〈新教室棟(慶園館新築工事)〉

新教室棟(慶園館)新築工事は、第Ⅲ期工事(慶園館北エリア・外構工事)として、2017年1月末の解体工事終了後、引き続き2月から慶園館北エリアの新築工事に着手しました。慶園館北エリア基礎部分の工事が終了した2017年4月から、慶園館と響流館の連結ブリッジを含んだ外構工事に着手し、7月に連結ブリッジの床梁及び天井梁の上棟が完了した後、2018年1月末で本工事が完了しました。引き続き、AV機器・LAN設備の納品設置と並行して、個人研究室の引越しを行い、2018年3月22日に竣工式並びに内覧会を行いました。

## 社会への開放

### ① 生涯学習講座

2017年度前期の生涯学習講座については、開放セミナー2講座、黎明講座3講座を開講しました。後期は、開放セミナー2講座、黎明講座4講座を開講しました。学外団体へは、大学コンソーシアム京都の「京カレッジ」京都府養成コースへ1講座、「京カレッジ」大学リレー講座へ1講座、京都市が行う「京カレッジ」大学リレー講座(2018年3月開催)へ1講座、近鉄文化サロンの共催講座へ1講座を提供しました。

また、京都市教育委員会と覚書を交わし、「グローバルセンター」において、京都市生涯学習総合センターと共催する講座を1講座提供しました。

### ② 博物館

博物館では、毎年、1回の特別展と4回の企画展を実施しています。春季企画展では、「大谷大学のあゆみ」として歴代学長の肖像画をテーマに展示を行いました。夏季企画展では、本学が所蔵する京都の町文書古文書を通じて、当時の人々の暮らしを紹介しました。秋季企画展では、「大谷大学博物館の逸品」と題して重要文化財2点を展示し、併せて実習生展(3班)を行いました。冬季企画展では、「京都を学ぶシリウス」の一環として、日下無倫先生の「榎丘文庫」を中心に紹介しました。特別展では、徳川家と格別の関係を持つ東本願寺と徳川幕府について紹介し、会期中には講演会、フィールドワーク、学生展示解説を行いました。2017年度の実績は、開館日数151日、入館者数7301名でした。

# 教育後援会だより

## 保護者懇談会開催について

「保護者懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大谷大学長ほか、学生支援部をはじめとする事務部門の職員が出席し、大学の現状について報告する会です。当日は成績表をお配りし個別相談にも応じます。

## 大谷大学フェア

### (近畿・東海・東北)開催報告

2018年7月～8月にかけて、大阪、岐阜、宮城の3会場において大谷大学フェアを開催いたしました。大谷大学フェアとは、2016年度より開催している、大谷大学・大谷大学教育後援会・大谷大学同窓会の共催事業です。

当日は「人が育つということ」をテーマとした公開シンポジウムをはじめ、進学相談会や保護者懇談会、同窓会支部長会を開催いたしました。

保護者懇談会では、教育後援会役員ならびに木越学長からの挨拶にはじまり、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法についてやサポート体制、近年の就職状況の傾向などの説明を行い、保護者とも協力して支援していくことが呼びかけられました。

また、学生個別のデータを基に、卒業単位の修得状況や、学生生活上の不安点、当該地区でのUターン就職についてなど、学生支援部職員が一人ひとりの相談に応じました。

公開シンポジウムには大谷大学同窓生や、当該地区にある他大学の教員をゲスト

トとしてお招きし、貴重なお話をいただくことができました。

さらに、同窓会・教育後援会合同の懇親会では、同窓会員との交流や保護者相互の親睦を深めるなど、和やかなひと時を過ごしていただくことができました。

上記3会場以外の静岡会場、東京会場では保護者懇談会のみで開催となりましたが、学長より大学の新しいメッセージ(Be.Re)寄りそう知性)や大学の理念、教育目標について説明が行われました。少人数での開催となりましたが、内容の濃い時間となりました。

## 大谷大学フェア・保護者懇談会の様子



大谷大学フェア(近畿)公開シンポジウムの様子



関東・東北地区保護者懇談会(東京会場)の様子

## ◆100円朝定食(定期試験応援フェア)実施

7月の前期定期試験期間中、教育後援会・同窓会・大谷大学からの補助により、朝定食が100円(ごはん・味噌汁・スープおかわり自由)で提供されました。多くの学生に、朝ごはんをしっかりと食べて定期試験に臨んでもらえました。後期定期試験期間中(1月)も実施予定です。学生のみなさんはぜひご利用ください!

### 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

# 教育振興資金(募金)について

2018年2月1日から2018年6月30日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました募金環境は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後もし引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金(募金)について

現在進行中のキャンパス総合整備・新教室棟建築にかかるときの募金につきましては、別途、募金趣意書を作成しております。お手元に募金趣意書が届きましたらご高覧いただきますようお願い申し上げます。また既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者一覧」とは別に「教育振興資金寄付者」を作成する予定です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者(個人の選択により)どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

## 教育振興資金寄付者 (敬称略)

### 【個人】

青藤 忍 (愛知県)	中田 康成 (山梨県)
麻生 英城 (大阪府)	坂東 和人 (徳島県)
板倉 昭二 (京都府)	東谷 智彰 (山形県)
大森 昌光 (秋田県)	菱田 隆 (大阪府)
加藤 祐彰 (福井県)	福田 淳心 (京都府)
木曾 順彦 (石川県)	福田 大 (京都府)
小松 宏栄 (岐阜県)	船山 義弘 (山形県)
近藤 政樹 (岐阜県)	本多 佐保美 (千葉県)
坂田 邦生 (愛知県)	安田 智之 (京都府)
佐竹 章弘 (滋賀県)	山本 秀徳 (愛媛県)
武田 真 (新潟県)	渡辺 浩伸 (北海道)
中川 香澄 (奈良県)	匿名 27件

### 【法人団体】

株式会社フラットエージェンシー (京都府)
株式会社類設計室 代表取締役 岡田 淳三郎 (大阪府)
因性寺 [菊池 正文] (北海道)
浄正寺 [秦野 恵生] (兵庫県)
匿名 5件

◆件数 59件 ◆寄付金総額 7,394,000円

お問い合わせ先

教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内 TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

# Our teacher

## 私たちの先生

東洋史を教える松浦先生のゼミ生4名が、先生の魅力やゼミの内容を紹介してくれました。

文学部 歴史学科 准教授

### 松浦 典弘

専門／東洋史(中国中世史)

1968年 大阪府生まれ。

京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。

博士(文学)。

2010年に大谷大学文学部准教授、現在に至る。

## 学生一人ひとりに 気づきを与える少人数ゼミ

東洋史を研究する際に、周辺世界との交流の歴史は欠かせません。松浦ゼミは研究領域が広く、西洋に興味を持っている学生でも学ぶことができます。西洋史を取り入れているゼミは多くないため、貴重な存在のゼミですね。

今のゼミ生は8名と少人数で、わからないことや疑問に思うことがあると、いつでも気軽に相談できるほどアットホームなのもいいところ。親切な先生の人柄はゼミで講読の課題として出される史料にもあらわれていて、とてもセンスがよく、おもしろいものが多いので、あまり興味のなかったテーマでも関心が持てます。夏期休暇中の自由課題では、私たちが何に興味を持っているか聞いたうえで、好奇心をかきたてられるテーマを設けていただきました。「答えは教えません。その代わりに、気づくためのヒントを与えます」と先生がおっしゃるように、さまざまな気づきを得られることがうれしいです。

そんな先生のゼミをさらに印象づけるのが、新歓コンパや期末コンパの時。普段のゼミと違って、なぜか知らない方も参加していて人がいっぱいになるんです。聞くと卒業された方や先生と親しい方とのこと。関わりのある多くの方から慕われている先生です。

## 先生からのMessage

歴史学は史料に基づいて研究を進めていく学問です。史料を読むのは難しいことではありますが、しっかり取り組んでいくことで、内容を理解できるようになってくれば、難しさのなかにあるおもしろさを感じることができるようでしょう。史料の読解能力を向上させるためには積み重ねが大切ですが、皆さんを見ていると努力した分だけ実力も着実についていっているように思います。各自が授業のなかで、史料を読む力、考える力を身につけていき、自分のテーマを見つけて、最終的に充実した内容の卒業論文を完成させることを願っています。私もしっかり指導していくつもりですので、頑張って取り組んでください。

現代の社会にはさまざまな情報があふれかえっていて、ともすれば誤った情報に流されてしまうようなこともありがちです。しっかり史料を読み、よく考えて判断したうえで必要な情報を得る力というのは、今の世の中で生きていくうえでも、きっと役に立つことでしょう。



【左から】文学部 歴史学科  
町田 亮 (第3学年)、溝邊 寧々 (第3学年)  
湊 千広 (第4学年)、岡田 大樹 (第3学年)

# 時代をみつめる

## 恩師との対話

教員という仕事を始めてもう10年以上になるが、いまだに自分が教員としてふさわしいのか、しばしば自信が持てないことがある。私は自信がなくなった時、亡き恩師M先生のことを思い出す。

私は大学で哲学を研究していたが、大学院では教育学の研究に進んだ。その後再び哲学を研究したくなり、M先生のもとを訪れた。本来であれば勘当ものだがM先生は嫌な顔一つせず、私を大学院に受け入れてくださった。しかし私がM先生のところに戻って3ヵ月後、先生は他界された。その時は悲しみを感じるだけではなく、大きな衝撃を受け、この「衝撃」が私の人生を変えることになった。M先生はご自身の病状をご存じのうえで私を受け入れてくださり、後任の先生に私のことを託してくださいさっていたのである。また病身にもかかわらず、私の論文を読んでいただき、大学院入試の面接にも無理を押しに来てくださった。

自らの死を自覚しながらも、弟子の将来に道筋を示す。——この衝撃は私の人生にとって、忘れられないものとなった。私は本学で教員養成に取り組み、学生の授業力アップや

教員採用試験の対策に専念しているが、それを苦に思ったことは全くない。うまく授業ができた時の学生のうれしそうな顔や課題を感じている時の顔を見て、もっと役に立てることはないかと日々考えている。もちろんうまくいかないことも多い。学生がうまく授業をできなかったり、教員採用試験でいい結果を得られなかったりすることもありますが、私は自分の力不足を痛切に感じている。最近気づいたのだが、私は教育活動しながらも、実は心の奥底で恩師と対話しているのかもしれない。今私には一つの楽しみがある。それは私が死んだ後、M先生のところへ研究成果報告に行くことである。先生にお聞きしたいと思う。「先生にはとても及びませんが、頑張りました。研究者として、そして教育者として合格点でしたか?」と。



教育学部 教育学科  
准教授  
田中 潤一  
専門分野 / 教育学・教育哲学

時代を照らす仏教のことば

犀の角のように

ただ独り歩め。

『スッタニパータ』  
『ブッタのことはスッタニパータ』岩波文庫17頁

### 編集後記

文藝塾の今後へ思いを馳せ、熱く語り合う先生と学生。先生はこんな人なのだ、楽しそうに語る学生の横で微笑む先生。今回の取材をとおして、「先生」と「学生」の枠を超えたつながりを見ることができました。在学生のみならず、一人ひとりが自らの学びを深めるなかで、恩師や同じ志を持つ仲間と出会い、よりよい関係を築いてほしいと思います。

(編集担当)